

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		固定の家具を少なくし出来るだけ広いスペースを確保出来る様になっている。	整理整頓を心掛け、しっかりと目標達成できるような療育環境を継続して整える。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		必要に応じて新規の職員を募集している。	職員の人数を確保しながら、職員個人のスキルの向上にも務めていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		療育スペースの整理整頓。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		PDCAサイクルの手法は取り入れている。	常に最善を尽くせるように振り返りながら取り組んでいる。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		送迎時や連絡帳にて日々確認するよう努めている。	保護者の皆さんの意見を確認出来る様に、アンケート頻度を増やすなど検討する。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			月一度の通信やHPIにて記載している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		課題として取り組むべき課題として認識し行動する。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		研修の他に日々の振り返りで療育的な手法を経験者から学んでいる。	今後社外研修なども取り入れていけるようにしていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			担当職員が丁寧にアセスメントし対応している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準化されたアセスメントを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子ども達の発達に必要な活動プログラム設定をしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		長期休暇中は通常日とは違い時間をかけた療育を取り入れている。	保護者のニーズも十分に組み込めるように、配慮していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			担当職員が丁寧にアセスメントし作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			時間の都合上当日は難しい場合も多いが、必ず振り返り替える様になっている。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			子ども達の基礎的な能力向上を一番に考えており、活動内容については信念をもって取り組んでいる。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			現在、対象になる利用児童の在籍はないが、必要に応じて対応している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	○			現在まで、対象になる利用児童の在籍はないが、必要になった時にスムーズな対応が出来る様に準備している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		今後は積極的に動いていける様努力していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		地域の児童館などとの関わりを深め、積極的に参加していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者の皆様に相談いただけるように努力していきたい。こちらからも積極的に情報を発信していけるように努力したい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			どんな時でも迅速に対応出来る様に、研修や、話し合いを継続していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		月一度の通信やHPIにて記載している。	保護者の方のご協力とご理解で成り立っている。早い段階でのお知らせが出来る様に改善していく。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			今後取り組むべき課題として認識し行動する。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			事業所内では十分に行っているが、今後は保護者や関係機関との連携をとり対応することが必要と感じている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月に一週間の避難訓練と年に一度のシュミレーションを行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			入社時と、年に1度の研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			入社時と、年に1度の研修を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			必要に応じて対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			研修を通じて事前に防げるような体制を作っていく。